

平成 28 年 8 月 3 日

各 位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算について

当社の平成 29 年 3 月期第 1 四半期（平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで）における四半期決算について、別添のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算短信
 - ・ 四半期連結貸借対照表
 - ・ 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 等
2. 平成 29 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 説明資料

以 上

【本件に関するお問合せ先】

総合企画部 主計室 京原・石井

TEL 083-223-5518



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 山口フィナンシャルグループ
コード番号 8418 URL <http://www.ymfg.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計室長
四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

(氏名) 吉村 猛
(氏名) 京原 健
特定取引勘定設置の有無 有

TEL 083-223-5511

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	45,986	8.8	15,099	3.2	10,395	10.9
28年3月期第1四半期	42,249	17.3	14,635	63.3	9,375	69.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 5,527百万円 (△59.0%) 28年3月期第1四半期 13,467百万円 (7.4%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	42.44		35.09	
28年3月期第1四半期	38.50		31.77	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
29年3月期第1四半期	10,111,472		586,863		5.7	
28年3月期	10,438,004		583,167		5.5	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 581,033百万円 28年3月期 577,403百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		10.00	—	8.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 29年3月期(予想)の第2四半期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	78,000	△5.1	23,000	△11.5	14,500	△16.7	59.20
通期	156,000	△5.7	50,000	0.6	33,000	2.2	134.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	264,353,616 株	28年3月期	264,353,616 株
29年3月期1Q	19,365,310 株	28年3月期	19,472,185 株
29年3月期1Q	244,932,850 株	28年3月期1Q	243,525,026 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「平成29年3月期第1四半期決算短信説明資料」として添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
(追加情報)	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 平成29年3月期 第1四半期決算短信 説明資料	P. 8 ~ 17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は株式等売却益、国債等債券売却益等の増加を主因に、前年同期比 37 億 37 百万円増加して 459 億 86 百万円となりました。一方、経常費用は金融派生商品費用などその他業務費用の増加を主因に、前年同期比 32 億 74 百万円増加して 308 億 87 百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比 4 億 64 百万円増加して 150 億 99 百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 10 億 20 百万円増加して 103 億 95 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末比 3,266 億円減少して 10 兆 1,114 億円となり、純資産は利益剰余金の増加を主因に、前連結会計年度末比 37 億円増加して 5,868 億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比 3,215 億円減少して 9 兆 1,885 億円、貸出金は前連結会計年度末比 18 億円増加して 6 兆 4,506 億円、有価証券は前連結会計年度末比 237 億円減少して 2 兆 969 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」の適用）

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（追加情報）

（「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,174,641	823,114
コールローン及び買入手形	356,718	370,513
買入金銭債権	7,909	7,529
特定取引資産	4,250	3,181
金銭の信託	47,655	39,922
有価証券	2,120,651	2,096,911
貸出金	6,448,887	6,450,683
外国為替	14,990	18,010
リース債権及びリース投資資産	13,784	13,795
その他資産	146,530	180,339
有形固定資産	88,665	89,005
無形固定資産	9,173	7,085
退職給付に係る資産	21,693	22,420
繰延税金資産	2,211	2,141
支払承諾見返	47,719	53,610
貸倒引当金	△67,478	△66,792
資産の部合計	10,438,004	10,111,472
負債の部		
預金	8,703,690	8,422,682
譲渡性預金	806,398	765,846
コールマネー及び売渡手形	73,343	62,472
債券貸借取引受入担保金	32,000	35,657
特定取引負債	3,525	2,322
借入金	34,552	31,525
外国為替	374	244
新株予約権付社債	67,608	61,746
その他負債	63,755	70,360
賞与引当金	3,439	1,683
退職給付に係る負債	2,056	1,969
役員退職慰労引当金	39	23
利息返還損失引当金	29	25
睡眠預金払戻損失引当金	1,404	1,303
ポイント引当金	75	72
特別法上の引当金	17	18
繰延税金負債	3,932	2,171
再評価に係る繰延税金負債	10,871	10,871
支払承諾	47,719	53,610
負債の部合計	9,854,836	9,524,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	60,780	60,780
利益剰余金	415,100	423,535
自己株式	△23,426	△23,346
株主資本合計	502,455	510,970
その他有価証券評価差額金	54,020	48,851
繰延ヘッジ損益	△306	△304
土地再評価差額金	24,522	24,522
退職給付に係る調整累計額	△3,288	△3,005
その他の包括利益累計額合計	74,947	70,063
新株予約権	600	642
非支配株主持分	5,163	5,187
純資産の部合計	583,167	586,863
負債及び純資産の部合計	10,438,004	10,111,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
経常収益	42,249	45,986
資金運用収益	26,133	23,557
(うち貸出金利息)	19,136	18,517
(うち有価証券利息配当金)	6,542	4,755
役務取引等収益	6,340	5,873
特定取引収益	651	412
その他業務収益	3,753	6,405
その他経常収益	5,370	9,738
経常費用	27,613	30,887
資金調達費用	2,019	1,735
(うち預金利息)	1,503	1,218
役務取引等費用	1,927	2,037
特定取引費用	-	33
その他業務費用	2,870	5,666
営業経費	20,034	20,897
その他経常費用	761	516
経常利益	14,635	15,099
特別利益	14	196
固定資産処分益	14	196
特別損失	3	34
固定資産処分損	1	32
金融商品取引責任準備金繰入額	2	1
税金等調整前四半期純利益	14,647	15,261
法人税、住民税及び事業税	3,300	4,448
法人税等調整額	1,803	392
法人税等合計	5,103	4,840
四半期純利益	9,543	10,421
非支配株主に帰属する四半期純利益	168	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,375	10,395

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	9,543	10,421
その他の包括利益	3,924	△4,893
その他有価証券評価差額金	3,815	△5,179
繰延ヘッジ損益	21	1
退職給付に係る調整額	87	283
四半期包括利益	13,467	5,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,289	5,511
非支配株主に係る四半期包括利益	177	15

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成29年3月期 第1四半期決算短信 説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況		
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	----	9頁
(2) 3行合算【単体】	----	10頁
(3) 単体		
①山口銀行	----	11頁
②もみじ銀行	----	12頁
③北九州銀行	----	13頁
2. 金融再生法ベースの категорияによる開示	----	14頁
3. 時価のある有価証券の評価差額	----	15頁
4. 預金・貸出金等の状況		
(1) 預金・譲渡性預金の残高	----	16頁
(2) 個人預り資産の残高	----	16頁
(3) 貸出金の残高	----	17頁
5. 自己資本比率	----	17頁

※本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- 山口フィナンシャルグループの連結決算につきましては、経常収益は株式等売却益、国債等債券売却益等の増加を主因に、前年同期比3億37百万円増加して45億86百万円となりました。
- 経常利益は、株式等関係損益、国債等関係損益等の増加により前年同期比4億64百万円増加して150億99百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10億20百万円増加して103億95百万円となりました。
- コア業務純益は、国債等債券損益を除いたその他業務利益の減少等により、前年同期比63億80百万円減少して30億1百万円となりました。

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	平成29年3月期 第1四半期 (3カ月)	前年同期比	平成28年3月期 第1四半期 (3カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
連結経常収益	45,986	3,737	42,249	165,504
連結業務粗利益	26,780	△ 3,289	30,069	114,364
資金利益	21,827	△ 2,295	24,122	91,165
役務取引等利益	3,835	△ 577	4,412	16,434
特定取引利益	378	△ 273	651	1,790
その他業務利益	738	△ 144	882	4,974
(うち国債等債券損益)	(3,404)	(2,560)	(844)	(10,834)
経費(除く臨時処理分)(△)	20,374	531	19,843	78,347
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,405	△ 3,820	10,225	36,017
連結コア業務純益	3,001	△ 6,380	9,381	25,182
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	453	△ 453	-
連結業務純益	6,405	△ 4,274	10,679	36,017
臨時損益	8,698	4,734	3,964	13,736
うち株式等関係損益	7,365	3,051	4,314	7,916
うち不良債権処理額(△) ②	69	△ 886	955	266
うち貸倒引当金戻入益 ③	686	686	-	3,753
うち償却債権取立益 ④	40	40	0	15
経常利益	15,099	464	14,635	49,718
特別損益	162	151	11	1,140
税金等調整前四半期(当期)純利益	15,261	614	14,647	50,858
法人税等合計(△)	4,840	△ 263	5,103	18,170
四半期(当期)純利益	10,421	878	9,543	32,688
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益(△)	25	△ 143	168	392
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	10,395	1,020	9,375	32,295
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 657	△ 1,157	500	△ 3,502

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用 + 信託報酬) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)
3. 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
4. 連結コア業務純益 = 連結業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
5. 連結業務純益 = 連結業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額
6. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(ご参考)

連結子会社数	15	2	13	14
持分法適用会社数	3	-	3	3

(2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	平成29年3月期		平成28年3月期	平成28年3月期
	第1四半期 (3カ月)	前年同期比	第1四半期 (3カ月)	(参考) (年間)
経常収益	41,889	2,364	39,525	148,886
業務粗利益	24,969	△ 4,322	29,291	108,559
資金利益	21,917	△ 3,496	25,413	92,598
役務取引等利益	2,710	△ 475	3,185	11,859
特定取引利益	△ 7	△ 13	6	30
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	348 (3,404)	△ 338 (2,542)	686 (862)	4,071 (10,884)
経費(除く臨時処理分)(△)	18,147	569	17,578	69,296
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,821	△ 4,891	11,712	39,262
コア業務純益	3,417	△ 7,433	10,850	28,378
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	△ 354	105	△ 459	△ 3,802
業務純益	7,176	△ 4,996	12,172	43,065
臨時損益	8,378	4,320	4,058	10,342
うち株式等関係損益	7,365	3,051	4,314	7,916
うち不良債権処理額(△) ②	△ 240	△ 1,187	947	261
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-	-
うち償却債権取立益 ④	39	39	0	13
経常利益	15,549	△ 673	16,222	53,371
特別損益	△ 32	△ 45	13	1,147
税引前四半期(当期)純利益	15,516	△ 719	16,235	54,519
法人税等合計(△)	4,489	△ 334	4,823	17,488
四半期(当期)純利益	11,026	△ 385	11,411	37,031
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 635	△ 1,122	487	△ 3,554

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。
5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(3) 単体
①山口銀行

- ・ 経常収益は、株式等売却益及び資金運用収益等の減少により、前年同期比27億62百万円減少して200億41百万円となりました。
- ・ 経常利益は、株式等関係損益の減少や資金利益の減少等により、前年同期比46億45百万円減少して54億76百万円となり、四半期純利益は、前年同期比30億13百万円減少して38億35百万円となりました。
- ・ コア業務純益は、国債等債券損益を除いたその他業務利益の減少等により、前年同期比49億28百万円減少して19億29百万円となりました。

	(単位:百万円)		平成28年3月期 第1四半期 (3カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
	平成29年3月期 第1四半期 (3カ月)	前年同期比		
経常収益	20,041	△ 2,762	22,803	87,396
業務粗利益	13,629	△ 2,977	16,606	59,819
資金利益	12,068	△ 1,683	13,751	50,414
役務取引等利益	1,645	△ 321	1,966	7,402
特定取引利益	△ 7	△ 13	6	30
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 78 (2,837)	△ 959 (1,772)	881 (1,065)	1,971 (9,035)
経費(除く臨時処理分)(△)	8,862	179	8,683	32,450
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	4,767	△ 3,155	7,922	27,369
コア業務純益	1,929	△ 4,928	6,857	18,333
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	197	△ 197	-
業務純益	4,767	△ 3,353	8,120	27,369
臨時損益	714	△ 1,296	2,010	7,458
うち株式等関係損益	420	△ 2,167	2,587	4,975
うち不良債権処理額(△) ②	33	△ 1,010	1,043	70
うち貸倒引当金戻入益 ③	106	106	-	1,610
うち償却債権取立益 ④	39	39	0	5
経常利益	5,476	△ 4,645	10,121	34,791
特別損益	△ 4	△ 5	1	1,253
税引前四半期(当期)純利益	5,471	△ 4,651	10,122	36,045
法人税等合計(△)	1,636	△ 1,638	3,274	11,338
四半期(当期)純利益	3,835	△ 3,013	6,848	24,706
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 113	△ 958	845	△ 1,545

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

②もみじ銀行

- ・経常収益は、株式等売却益及び国債等債券売却益の増加により、前年同期比50億88百万円増加して186億80百万円となりました。
- ・経常利益は、株式等関係損益の増加を主因として、前年同期比37億74百万円増加して91億28百万円となり、四半期純利益は、前年同期比24億71百万円増加して65億36百万円となりました。
- ・コア業務純益は、子会社からの配当金の減少等により、前年同期比24億60百万円減少して10億90百万円となりました。

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	平成29年3月期 第1四半期 (3カ月)	前年同期比	平成28年3月期 第1四半期 (3カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
経常収益	18,680	5,088	13,592	50,880
業務粗利益	8,482	△ 1,404	9,886	37,256
資金利益	7,180	△ 1,918	9,098	31,977
役務取引等利益	918	△ 113	1,031	3,596
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	383 (566)	626 (769)	△ 243 (△203)	1,682 (1,603)
経費(除く臨時処理分)(△)	6,825	287	6,538	27,491
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,657	△ 1,690	3,347	9,765
コア業務純益	1,090	△ 2,460	3,550	8,162
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
業務純益	1,657	△ 1,690	3,347	9,765
臨時損益	7,471	5,464	2,007	5,658
うち株式等関係損益	6,945	5,219	1,726	2,503
うち不良債権処理額(△) ②	36	△ 2	38	135
うち貸倒引当金戻入益 ③	99	△ 153	252	1,931
うち償却債権取立益 ④	-	-	-	8
経常利益	9,128	3,774	5,354	15,424
特別損益	△ 28	△ 40	12	△ 19
税引前四半期(当期)純利益	9,099	3,732	5,367	15,405
法人税等合計(△)	2,563	1,262	1,301	4,917
四半期(当期)純利益	6,536	2,471	4,065	10,487
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 63	151	△ 214	△ 1,805

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
 3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
 4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

③北九州銀行

- ・ 経常収益は、貸倒引当金戻入益や資金運用収益の増加を主因として、前年同期比2億90百万円増加して38億31百万円となりました。
- ・ 経常利益は、与信関係費用の減少や資金利益の増加等により、前年同期比2億円増加して9億45百万円となり、四半期純利益は、前年同期比1億56百万円増加して6億54百万円となりました。

	平成29年3月期		平成28年3月期	
	第1四半期 (3カ月)	前年同期比	第1四半期 (3カ月)	平成28年3月期 (参考) (年間)
経常収益	3,831	290	3,541	14,415
業務粗利益	2,857	59	2,798	11,483
資金利益	2,667	104	2,563	10,206
役務取引等利益	146	△ 41	187	860
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	43 -	△ 5 -	48 -	416 (245)
経費(除く臨時処理分)(△)	2,460	104	2,356	9,354
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	397	△ 45	442	2,128
コア業務純益	397	△ 45	442	1,883
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
業務純益	397	△ 45	442	2,128
臨時損益	547	244	303	1,027
うち株式等関係損益	-	-	-	436
うち不良債権処理額(△) ②	△ 0	△ 15	15	60
うち貸倒引当金戻入益 ③	459	300	159	263
うち償却債権取立益 ④	-	-	-	0
経常利益	945	200	745	3,156
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	△ 87
税引前四半期(当期)純利益	945	200	745	3,068
法人税等合計(△)	290	43	247	1,231
四半期(当期)純利益	654	156	498	1,837
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 459	△ 315	△ 144	△ 203

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

2. 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体】

- 山口銀行の不良債権額は前年同期末比87億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.25%低下しました。
- もみじ銀行の不良債権額は前年同期末比29億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.16%低下しました。
- 北九州銀行の不良債権額は前年同期末比22億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.42%低下しました。

		(単位:億円、%)		【参考】(単位:億円、%)
		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	434	482	428
	危険債権	479	534	503
	要管理債権	114	150	128
	合 計	1,029	1,167	1,059
	総与信に占める開示額の割合	1.57	1.81	1.62
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	160	182	160
	危険債権	261	311	265
	要管理債権	84	99	94
	合 計	506	593	520
	総与信に占める開示額の割合	1.44	1.69	1.48
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	191	195	187
	危険債権	144	153	152
	要管理債権	17	33	19
	合 計	353	382	359
	総与信に占める開示額の割合	1.71	1.87	1.75
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	82	104	80
	危険債権	73	70	85
	要管理債権	12	17	13
	合 計	169	191	179
	総与信に占める開示額の割合	1.72	2.14	1.85

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

平成27年6月末・平成28年6月末の各開示区分の金額は、3月末から6月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた6月末時点における各残高を記載しております。

2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

・3行合算の「その他有価証券」の評価差額は、前年同期末比395億円減少し、700億円の評価益となりました。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成28年6月末		平成27年6月末		平成28年3月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	その他有価証券	20,808	700	22,890	1,095	21,045	774
	株式	1,146	543	1,511	891	1,211	588
	債券	16,770	382	18,626	139	16,997	318
	その他	2,891	△ 224	2,752	64	2,836	△ 132
山口銀行	その他有価証券	13,654	559	15,541	839	14,064	604
	株式	834	404	1,145	703	889	443
	債券	11,121	285	12,864	102	11,447	236
	その他	1,699	△ 130	1,531	33	1,726	△ 75
もみじ銀行	その他有価証券	6,895	19	7,062	118	6,725	51
	株式	110	23	145	54	121	31
	債券	5,591	90	5,695	33	5,493	77
	その他	1,192	△ 94	1,221	30	1,109	△ 57
北九州銀行	その他有価証券	258	121	287	136	255	118
	株式	201	115	220	133	199	113
	債券	57	6	66	3	56	5
	その他	-	-	-	-	-	-

(注)1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成28年6月末		平成27年6月末		平成28年3月末	
		帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	50	1	47	0	51	1
山口銀行	満期保有目的の債券	5	0	10	0	5	0
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	45	1	36	0	45	1

4. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金・譲渡性預金の残高【単体】

- ・3行合算の預金・譲渡性預金の残高は、個人預金と法人預金がともに増加し、前年同期末比154億円増加して9兆2,220億円となりました。
- ・山口銀行は、前年同期末比503億円減少して5兆4,094億円となりました。
- ・もみじ銀行は、前年同期末比174億円減少して2兆8,530億円となりました。
- ・北九州銀行は、前年同期末比831億円増加して9,595億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末
3行合算	預金・譲渡性預金	92,220	92,066	95,261
	預金	84,509	84,638	87,144
	譲渡性預金	7,711	7,427	8,116
山口銀行	預金・譲渡性預金	54,094	54,597	55,681
	預金	48,457	49,117	50,966
	譲渡性預金	5,636	5,480	4,714
もみじ銀行	預金・譲渡性預金	28,530	28,704	29,806
	預金	27,456	27,406	27,499
	譲渡性預金	1,074	1,297	2,306
北九州銀行	預金・譲渡性預金	9,595	8,764	9,774
	預金	8,595	8,114	8,678
	譲渡性預金	1,000	649	1,095

(2) 個人預り資産の残高【単体】

- ・3行合算の個人預り資産残高は、前年同期末比362億円増加して、7,451億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末
3行合算	公共債	182	421	209
	保険	6,875	6,195	6,776
	投資信託	394	472	381
	合計	7,451	7,089	7,367
山口銀行	公共債	77	255	94
	保険	2,983	2,682	2,933
	投資信託	200	261	202
	合計	3,260	3,199	3,230
もみじ銀行	公共債	75	124	84
	保険	3,598	3,266	3,553
	投資信託	166	180	152
	合計	3,840	3,571	3,791
北九州銀行	公共債	29	41	30
	保険	293	246	289
	投資信託	26	30	25
	合計	349	318	345

(注) 投資信託は時価ベース、公共債は額面ベース、保険(平準払保険を含まない年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースです。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末
ワイエム証券	債券	664	595	639
	株式	487	613	539
	投資信託	1,037	1,369	1,154
	その他	138	242	145
	合計	2,328	2,820	2,478

(注) ワイエム証券は時価ベースで、その他にはMRF等を含んでおります。

(3) 貸出金の残高【単体】

- 3行合算の貸出金残高は、前年同期末比1,360億円増加して6兆4,873億円となりました。
- 山口銀行は、地公体向け及び個人向け貸出を中心に前年同期末比241億円増加して3兆4,720億円となりました。
- もみじ銀行は、個人向け及び法人向け貸出を中心に前年同期末比215億円増加して2兆428億円となりました。
- 北九州銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比904億円増加して9,724億円となりました。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成28年6月末	平成27年6月末	平成28年3月末
3行合算	貸出金	64,873	63,513	64,715
	うち個人ローン	12,211	11,445	12,099
	うち住宅ローン	10,887	9,978	10,764
	うちその他ローン	1,324	1,467	1,335
	中小企業等貸出金 (A)	37,258	36,161	37,551
	貸出金残高(国内) (B)	64,574	63,169	64,371
	中小企業等貸出金比率 (A) / (B)	57.69%	57.24%	58.33%
山口銀行	貸出金	34,720	34,479	34,818
	うち個人ローン	5,748	5,411	5,683
	うち住宅ローン	5,087	4,759	5,017
	うちその他ローン	660	651	665
	中小企業等貸出金 (C)	16,696	16,763	17,220
	貸出金残高(国内) (D)	34,422	34,135	34,474
	中小企業等貸出金比率 (C) / (D)	48.50%	49.11%	49.95%
もみじ銀行	貸出金	20,428	20,213	20,345
	うち個人ローン	4,746	4,497	4,743
	うち住宅ローン	4,414	3,992	4,403
	うちその他ローン	331	504	339
	中小企業等貸出金 (E)	13,364	12,826	13,153
	貸出金残高(国内) (F)	20,428	20,213	20,345
	中小企業等貸出金比率 (E) / (F)	65.42%	63.45%	64.64%
北九州銀行	貸出金	9,724	8,820	9,551
	うち個人ローン	1,717	1,536	1,672
	うち住宅ローン	1,385	1,225	1,342
	うちその他ローン	331	311	330
	中小企業等貸出金 (G)	7,197	6,571	7,178
	貸出金残高(国内) (H)	9,724	8,820	9,551
	中小企業等貸出金比率 (G) / (H)	74.01%	74.49%	75.15%

(注)1. 「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。
2. 平成28年3月末より、もみじ銀行の個人ローンの抽出方法を山口銀行、北九州銀行と同一に変更しております。

5. 自己資本比率

平成28年6月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準)につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。